

家庭科学習指導案

令和2年11月13日(金) 第5学年3組(5年3組教室) 指導者 中里 真一

【題材】 スッキリ！ビフォーアフター

考察	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの整理・整頓や清掃の仕方についての基礎的な知識と, それらに係る技能 	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの整理・整頓や清掃の仕方について問題を見だし, 適切に解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員としてよりよい生活の実現に向けて, 家庭で実践する楽しさや家族との関わりを感じながら, 住まいの整理・整頓や清掃をしようとする態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> 学校の清掃や片付けで, ほうきや雑巾がけなどの知識と, それに係る技能を身に付けている。 整理・整頓の仕方, 汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方は十分には身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣生活や食生活の中から問題を見だして課題を設定し, 様々な方法を考え解決している。 住生活の学習は初めてのため, 住生活の中から問題を見だして課題を設定したり, 様々な方法を考え解決したりしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で調理や洗濯の実践をしたり, 自ら製作したものを家族に贈り, 共に使ったりして, 家庭で実践する楽しさや, 家族とのつながりを深める喜びを感じている。 家庭で住まいの整理・整頓や清掃の実践をすることは少ない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方, 汚れの種類や汚れ方に応じた手軽で手際の良い清掃の仕方の基礎的な知識と, それに係る技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理・整頓のシミュレーションを何度も繰り返すことができる。 学校の調理室においては, 様々な種類の汚れが見られるため, 実践的・体験的な活動を通して, 友達と一緒に汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で整理・整頓や清掃をする「スッキリ大作戦」を行うことは, 学校で身に付けた整理・整頓や清掃の仕方を活用できることを実感できる。 家族から感謝される喜びを味わったり, 家族の一員として生活を支える仕事ができる自分に気付いたりすることができる。
見方・考え方	<p>家族が使うものをすぐに取り出せるように整理・整頓をしたり, 家族と共に過ごす部屋を気持ちよく清潔に保つ清掃をしたりすること。(協力・協働の視点, 健康・快適・安全の視点)</p>		
今後の学習	<p>6年「夏の省エネライフー風の通り道をつくろうー」で, 部屋の模型を用いて風通しをよくする窓の開け方を考え, その方法で教室や家庭の風の通り道づくりを行う学習へと発展していく。</p>		

本時の学習（3／7時間目）

ねらい タブレットを用いた整理・整頓のシミュレーションや、机の引き出しの整理・整頓を基に、整理・整頓の仕方を話し合うことを通して、必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方について、自分なりの考えをもつことができる。

評価項目 友達から聞いた整理・整頓の仕方のよさや改善点を基に、整理・整頓の仕方を再考したり、繰り返し試したりしている。

<発言・整理・整頓の様子②>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けたいな。 (目的意識)</p> </div>	<p>○必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けるという目的意識をもつことができるように、これまでの整理・整頓に関わる経験や、本時に行うシミュレーションの内容を問いかける。</p> <p>○本時の活動の見通しがもてるように、タブレットを用いて行う整理・整頓のシミュレーション画面を大型モニターで提示する。</p>
<p>めあて：シミュレーションをしたり、実際に整理・整頓をしたりして、必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けよう</p>	
<p>2 シミュレーションや机の引き出しの整理・整頓をして、整理・整頓の仕方を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずはどんなものが入っているかを確認し、必要かどうか、使う回数はどうかで整理してみよう。 ・友達は大きさや形も意識して、同じくらいの大きさのものをそろえたり、軽いものは重いものの上に重ねたりしているのだな。 ・よく使うものは手前、あまり使わないものは奥に入れる考えは、ぼくも友達も一緒だな。 ・この方法で実際に引き出しを整理・整頓してみると、これまでよりも物が取り出しやすくなったよ。せっかく使いやすくなったのだから、いつも同じ場所に戻さないで、使いやすい状態が続かないな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・はさみやのりなどのよく使うものは、他のものと重ねずに手前に置くようにしたよ。コンパスや色鉛筆などの、時々使うものは、奥に重ねることで、スペースの確保もできたよ。(目的を達成した意識)</p> </div>	<p>○整理・整頓の仕方を繰り返し試すことができるように、タブレット画面で画像を動かしながら、個別に机の引き出しの整理・整頓のシミュレーションをするよう促す。</p> <p>○個別にシミュレーションした整理・整頓の仕方のよさや改善点に気付けるように、タブレット画面を見比べながら、それぞれのシミュレーションした整理・整頓の仕方をペアで伝え合う機会を設定する。</p> <p>○必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けることができるように、互いのシミュレーションした整理・整頓の仕方の共通点や相違点を問いかける。</p> <p>○シミュレーションで見付けた整理・整頓の仕方のよさを実感できるように、実際に自分の机の引き出しの整理・整頓をするよう促す。</p> <p>○整理・整頓をすることの必要性を実感できるように、自分の机の引き出しの整理・整頓をした後の使いやすさを問いかける。</p> <p>○自分に合った整理・整頓の仕方を見付けようという意欲を高められるように、ペアで考えを伝え合ったり、それを基に再考したりしながら、繰り返し整理・整頓を試している児童を称賛する。</p>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シミュレーションや実際に整理・整頓したり、友達の考えを聞いたりして、必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けることができたよ。次回も友達と協力して、清掃の仕方も見付けたいな。 	<p>○本時に見付けた方法で、家庭や学校で整理・整頓をする意欲や、次時から汚れの種類や汚れ方に応じた手軽で手際の良い清掃の仕方を見付けていく意欲を高められるように、本時の活動を通して「分かったこと」「今後取り組みたいこと」を視点に振り返りをするよう促す。</p>

授業の振り返り

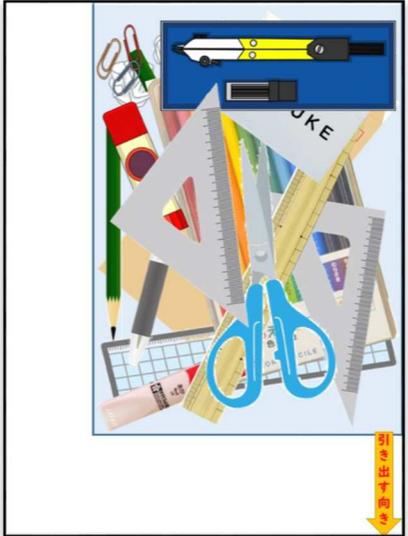
※授業の様子は、本校 HP でも紹介しています。
【教育研究→令和 2 年度提案・部内授業の様子】

機器	タブレット (1人1台)
使用アプリ	Microsoft パワーポイント
機能等	スライド作成画面 (図形の移動・回転)

○実際の授業の流れと児童の様子

【導入】 前時において、児童は、「自分の引き出しではなく、他のもので整理・整頓を試して、よい方法を見付きたい。それを、実際の整理・整頓に生かしたい」という意識をもった。そこで、全員が同じ状態の引き出しの整理・整頓を繰り返しシミュレーションできるように、タブレット端末画面で操作できるスライドの引き出しを用意した。これにより、児童は、必要なものをすぐに取り出せる整理・整頓の仕方を見付けるといった目的意識を明確にした。

【展開】 シミュレーションを始め、「文房具を全て引き出しからいったん出して入れ直す」「いらないものだけを取り出す」「同じ種類のものを集める・重ねる」など、多様な方法で児童はシミュレーションを行った。そして、シミュレーション後や、シミュレーションの途中で、タブレット画面を見せ合いながら、周りの児童とシミュレーションした結果を比較したり、それぞれの方法を伝え合ったりしていた。これは、全員が同じ状態の引き出しの整理・整頓を行うことで、結果を比較しやすかったことや、図形の移動や回転などの操作が容易であったため、他者の考えを聞いて、繰り返し試しやすかったからだと考えられる。一方で、タブレット画面上での図形をきれいに重ねたり並べたりすることのみに意識が向き、タブレット操作に没頭する時間が長



<タブレット端末上の引き出し>

く、自分の考えを他者に伝えたり、他者の考えを基に、再度シミュレーションを行わない児童も見られた。

それぞれがシミュレーションを繰り返した後、整理・整頓の仕方を学級全体で話し合った。そこで出た整理・整頓の仕方や、自分が行ったシミュレーションを基に、児童は実際に自分の引き出しの整理・整頓を行った。シミュレーションでは確認できなかった物の厚みなども考慮して、物が取り出しやすくなるように、整理・整頓を行った。

【終末】 児童は、本時の学習を振り返り、「きれいに整理・整頓することも大切だが、その状態を維持していくことが大切である。」や「今度は家の勉強机を整理・整頓したい。」など、学習を通して感じたことや、家庭実践の意欲などを学習プリントに記述した。

○授業改善に向けて

・画面上の図形を並べることにのみ意識が向かないように、個人の実物を使って整理・整頓の方法を見いだした後に、教室の共用スペース等のシミュレーションで活用するという流れも効果的であると考えられる。



<タブレット端末上で整理・整頓する様子>



<自分の引き出しを整理・整頓する様子>